

# Opening Greetings

今回のメインテーマは「美容医療、達人の治療法」です。会員様からの苦慮症例・疑問症例に関して、事前にアンケートを取りましたところ、「下眼瞼のたるみ」と「治りにくいニキビ」の二つがテーマとして上がってきました。今回はこの2テーマを中心に、各分野の達人パネラー、更にはフロアからの適切なアドバイスを頂き、一緒に濃い内容の討論を致したいと思います。

午前中の Hands on seminar に参加された方々には、少しハードな一日となるかも知れませんが、参加して良かったと思える実りある会になるよう努めます。

最後になりましたが、学会事務局、東京女子医大附属青山女性・自然医療研究所、協賛企業の皆様のご支援に心から感謝いたします。

Every man desires to live long;

but no man would be old.

-Johathan Swift

Medical Beauty Forum 2006 Spring & Summer

会長 玉田 伸二

(日本皮膚病理研究所 所長、徳島皮フ科クリニック 院長)

## 参加のご案内

- 日時 : 2006年4月23日(日) 11:40~16:30 (11:10より受付開始)  
9:30-11:30は東京女子医科大学附属青山女性医療研究所にて「ヒアルロン酸とボトックス」の併催セミナーを行います。大変申し訳ございませんが、セミナーの参加登録は締切っております。
- 会場 : ウラク青山 2F Banquet Room  
〒107-0061 東京都港区北青山2-7-13 プラセオ青山ビル  
TEL 03-5411-7101
- 会長 : 日本皮膚病理研究所 所長、徳島皮フ科クリニック 院長 玉田 伸二
- メインテーマ : 「美容医療、達人の治療法」

### 参加費

- |        |                         |           |
|--------|-------------------------|-----------|
| 事前登録の方 | ・会員医師もしくは企業の方           | : 15,000円 |
|        | ・非会員の方(2006年度の年会費を含みます) | : 40,000円 |
| 当日参加の方 | ・会員医師もしくは企業の方           | : 20,000円 |
|        | ・非会員の方(2006年度の年会費を含みます) | : 45,000円 |
|        | ・会員の所属施設に勤務する看護師、事務員    | : 5,000円  |

\*登録は、別紙参加登録用紙をご利用ください。http://mbf.aoyama-jc.comからもご登録頂けます。

\*会員の所属施設に勤務する医師の方は、会員価格でのご参加が可能です。

\*会場、ランチョンセミナーの都合上、できる限り事前登録をお願いいたします。事前登録締切日以降当日までの間にお申込の方は、できるだけお早めに出欠をお知らせください。

- お振込先 : みずほ銀行 外苑前支店(がいえんまえ) 普通預金 1562703  
MBF2006 春夏(エムビーエフ2006ハルナツ)  
事前登録は、4月14日(金)までです。

- 参加申込先 : 参加申込、会員登録に関するお問い合わせなどは下記までお願いいたします。  
日本抗加齢美容医療学会-Medical Beauty Forum-事務局  
〒107-0061 東京都港区北青山2-7-13  
東京女子医科大学附属青山女性医療研究所 若松教授室内  
TEL/FAX : 03-3746-1822(若松教授室直通)  
E-mail: mbfaoyama@yahoo.co.jp http://mbf.aoyama-jc.com

\* お願い

会場内は原則禁煙です。録画、録音、写真撮影などは一切禁止です。

### <ご協賛企業一覧(五十音順)>

- |            |                  |
|------------|------------------|
| 株式会社アブソルート | TEL 045-410-4210 |
| 株式会社インテグラル | TEL 03-3353-2630 |
| 株式会社ウェルハート | TEL 03-5276-6071 |
| キュテラ株式会社   | TEL 03-3473-9180 |
| 株式会社サンソリット | TEL 03-6717-6121 |

## プログラム

総合司会 : 大木 理香 (東京女子医科大学附属青山女性医療研究所 非常勤講師)

### 11:40-11:45【開会の挨拶】

日本皮膚病理研究所 所長、徳島皮フ科クリニック 院長 玉田 伸二

### 11:45-12:25【ランチョンセミナー】 株式会社ウェルハート

座長 クロスクリニック 院長 石川 浩一

1) 「Q-MED 社 RESTYLANE® シリーズ製品のご紹介」

株式会社ウェルハート 営業部 マネージャー 西田 みゆき

2) 「使用上の注意点」

日本皮膚病理研究所 所長、徳島皮フ科クリニック 院長 玉田 伸二

### 12:30-13:05【演題発表】

座長 スキンクリニック野瀬 院長 野瀬 隆夫、青山・小林クリニック 院長 小林 敏男

1) 「食物繊維およびビタミンCが皮膚に及ぼす影響」

東京女子医科大学附属青山女性医療研究所 非常勤講師 大木 理香

2) 「美容医療用生体材料の変遷と世界の現状」

東京女子医科大学附属青山女性医療研究所 所長、教授 若松 信吾

\*美容医療賠償責任共済会について

### 13:05-14:30【美容医療、達人に聞く！ -下眼瞼のたるみ治療-】

座長 日本皮膚病理研究所 所長、徳島皮フ科クリニック 院長 玉田 伸二

東京女子医科大学附属青山女性医療研究所 所長、教授 若松 信吾

1) 「下眼瞼除皺術」

2) 「下眼瞼下部への脂肪注入術」

きぬがさクリニック 総院長 衣笠 哲雄

3) 「下眼瞼に対する高周波治療 最近の治療法及び効果」

東京女子医科大学附属田端 NSK ビルクリニック 美容外科 櫛方 暢晴

4) 「ヒューマンコラーゲンによる下眼瞼のたるみ治療」

大分皮膚科 院長 山本 貴弘

5) 「フラクセル・レーザーの下眼瞼への効果」

クロスクリニック 院長 石川 浩一

### 【ディスカッション】

## 14:30-14:35【休憩】

## 14:35-15:35【美容医療、達人に聞く！ -治りにくいニキビの治療-】

座長 スキンクリニック野瀬 院長 野瀬 隆夫、大宮スキンクリニック 院長 石井 良典

### 1) 「痤瘡に対する PPx の有用性の検討」

実川皮膚科クリニック 院長 実川 久美子

### 2) 「PDT 治療 (photodynamic therapy) によるニキビ治療」

東京女子医科大学附属田端 NSK ビルクリニック 美容外科 竹内 かおり

### 3) 「小林メソッド (皮脂腺電気焼却法) による、治りにくいニキビの治療」

青山・小林クリニック 院長 小林 敏男

## 【ディスカッション】

### 4) その他 疑問症例、苦慮症例：黒子、肝斑他

こちらは進行の時間によってはできない可能性もございますので、何卒ご了承ください

## 15:35-16:05【New Method のご紹介】

### 1) 「各種レーザー治療後における 0 メイクの有用性について」

みやた 形成外科・皮ふクリニック 院長 宮田 成章

(協賛：株式会社サンソリット)

### 2) 「キュテラ社 XEO プラットフォームのご紹介：

新しい脱毛ハンドピース PW770

痛みの少ないしわ、たるみ治療器タイタン」

キュテラ株式会社 マーケティング部 林 忠朋

### 3) 「再現性の高い治療前後写真を可能にした『顔画像解析装置 VISIA ビジア』」

株式会社インテグラル 永岡 庸平

### 4) 「MESODERM を使用したコンビネーションセラピー」

株式会社アブソルート 代表取締役 伊藤 永

## 16:05-16:30【会長講演】

座長 きぬがさクリニック 院長 衣笠 哲雄、青山・小林クリニック 院長 小林 敏男

### 「美容医療のための病理学」

日本皮膚病理研究所 所長、徳島皮膚科クリニック 院長 玉田 伸二

## 16:30- 【閉会の挨拶】

日本皮膚病理研究所 所長、徳島皮膚科クリニック 院長 玉田 伸二

## 【ランチョンセミナー】 株式会社ウェルハート

座長 クロスクリニック 院長 石川 浩一

---

### 1) 「Q-MED 社 RESTYLANE® シリーズ製品のご紹介」

株式会社ウェルハート 営業部 マネージャー 西田 みゆき

当社は 2005 年 4 月より RESTYLANE® シリーズの日本での正規代理店として、活動を開始して参りました。

Q-MED 社の RESTYLANE® シリーズは「Tissue-Tailored」という、ユニークなコンセプトに基づいて開発されました。様々な深さで皮下に注入され、各々の深さの組織構造に適合するように設計されている為、最適な補正やボリュームの増大が可能となっております。

RESTYLANE® シリーズはいずれも、同じヒアルロン酸ゲル（NASHA：非動物性安定化ヒアルロン酸）を含有しており、美容目的として初めて FDA に承認されたヒアルロン酸粒子であり、優れたリフティング作用を有しています。

皆様へのご挨拶を兼ねて、詳細につきましてはランチョンセミナーにて、資料と合わせましてご紹介させていただきます。

### 2) 「使用上の注意点」

日本皮膚病理研究所 所長、徳島皮フ科クリニック 院長 玉田 伸二

\* 講義がございます。

## 【演題発表】

座長 スキンクリニック野瀬 院長 野瀬 隆夫、青山・小林クリニック 院長 小林 敏男

### 1) 食物繊維およびビタミンCが皮膚に及ぼす影響

東京女子医科大学附属青山女性医療研究所 非常勤講師 大木 理香

20代～40代の健康な男女を対象に一定期間食物繊維を摂取してもらい、摂取前後の皮膚状態を確認したところ、摂取後は摂取前に対し皮溝(きめ)が整い、皮膚の水分量および弾力も増した。また、20代～40代の健康な女性を対象に一定期間食物繊維およびビタミンCを摂取してもらい、摂取前後の皮膚状態を確認したところ、摂取後は毛穴、シミ、乾燥、皮脂の全てにおいて改善が見られた。外科的なアプローチのみで治療に難渋している症例には、このような内科的な側面からのアプローチも併せて治療を行うことでより早く改善が見られるのではないかと考え、若干の症例とともに今回の実験結果を報告する。

#### Profile

1967年生まれ。東京女子医科大学卒。日本抗加齢美容医療学会(理事)、日本医学脱毛学会(理事)、日本形成外科学会会員、日本美容外科学会会員、日本皮膚科学会会員、日本臨床皮膚外科学会会員、日本アロマセラピー学会会員、日本医学脱毛学会認定医、認定脱毛士、認定脱毛指導士

### 2) 美容医療用生体材料の変遷と世界の現状

東京女子医大附属青山女性医療研究所 所長、教授 若松 信吾

本邦で使用されてきた美容医療用注入物の歴史は 1)古典的な注入物の時代 ヒトアジュバント病の問題、2)近年の注入物 ヒアルロン酸以前、3)最新の注入物に分けることが出来る。

最近ではヒアルロン酸の全盛時代である。アクリル樹脂ゲルを様々な注入物と混合して注入すると長持ちする(2~3年)といって販促する業者がいるが、やはり除去しがたい肉芽組織の発現により患者・施術医師双方を悩ませる現実となっている。

#### Profile

東京女子医科大学附属青山女性・自然医療研究所 所長/教授、東京女子医科大学附属田端NSKビルクリニック 美容外科 教授。1942年生まれ。日本医科大学卒業。日本抗加齢美容医療学会-Medical Beauty Forum-理事長の他、日本レーザー医学会、日本美容外科学会、日本美容医療協会等の数々の理事を務める。"美容医療"に対する私の信条は、患者の皆様のニーズをよく伺い理解し、それに対していかにベストな治療プロセスを提案できるかどうかということ。日々、研究・模索し積極的に取り組んでいる。趣味は合唱、テニス。六本木男声合唱団に所属。

## 【美容医療、達人に聞く！ -下眼瞼のたるみ治療-】

座長 日本皮膚病理研究所 所長、徳島皮膚科クリニック 院長 玉田 伸二

東京女子医科大学附属青山女性医療研究所 所長、教授 若松 信吾

### 1) 下眼瞼除皺術

きぬがさクリニック 総院長 衣笠 哲雄

いわゆる「下まぶたのたるみとり」、下眼瞼除皺術は、美容外科における手術の中でも極めて難しいものの部類に入るといえる。

即ち、外反(あっかんべー)を恐れるあまり、皮膚の切除量を少なくすると(under correction)患者の不満足をひきおこす。

また、効果をしっかりと出そうとするあまり、切除量を多くしすぎると（over correction）、外反等の合併症をひきおこす。

さらに、患者さんそれぞれの状況が異なることから、眼窩脂肪をとるべきか、とらざるべきか、また、とる場合にはどの程度とるべきか等々、さまざまな問題も多い。

今回、演者が行っている手術のビデオを供覧する予定である。

また、アプトス、ハッピーリフト等の併用についても、言及したいと考えている。

## 2) 下眼瞼下部への脂肪注入術

きぬがさクリニック 総院長 衣笠 哲雄

いわゆる「目の下のクマ」、下眼瞼下部の陥凹の治療としては、手術療法として下眼瞼除皺術、こめかみ付近のリフティング、注入療法として、コラーゲン・ヒアルロン酸の注入、また、美容レーザーとしてサーマクール、タイタン、フラクセル等があげられる。

今回、「面としての拳上」、「組織の萎縮、不足に対する充填」という観的からの「脂肪注入術」についてのべてみたい。

今回、とくに手術手技の実際について、詳細に述べるつもりである。

- ・ デザイン
- ・ 脂肪の採取
- ・ 採取脂肪の精製
- ・ シュミレーション
- ・ 注入脂肪量の決定
- ・ 実際の注入
- ・ 術後のアフターケア
- ・ その他

また、術前のインフォームド・コンセント、術後の合併症とその対策についても言及する。

### Profile

1982年 奈良県立医科大学医学部卒業 同大学附属病院勤務  
1989年 きぬがさクリニック大阪院開院  
2001年 きぬがさクリニック神戸院開院  
2002年 大阪大学医学部非常勤講師  
2004年 きぬがさクリニック姫路院開院

## 3) 下眼瞼に対する高周波治療 最近の治療法及び効果

東京女子医科大学附属田端 NSK ビルクリニック 美容外科 櫛方 暢晴

高周波（RF）は非侵襲的な Skin tightening 治療として認知されており、現在では出力方法などを含め効果的かつ安全な機器の開発、照射方法の研究、従来 RF を積極的に行っていなかった眼瞼周囲のしわ、たるみに対する治療の検討が進められている。

中でも下眼瞼のしわ、たるみは加齢変化の中でも目立ちやすいため、これを主訴として来院される患者様は

多く、RF 治療は以前から注目されていた。しかし、眼球への影響などが懸念されたため、下眼瞼縁までの照射は行っていなかった。

現在では様々な研究や機器の改良がなされ、Monopolar 式でも照射可能となり、Bipolar 式では吸引システムを用いた新しい機器も登場し眼瞼周囲に対して積極的に治療できるようになった。

今回、これらを用いた治療についての適応及び効果について報告する。

#### Profile

東邦大学医学部卒業、東邦大学大森病院整形外科、東京女子医科大学附属第二病院形成外科を経て、現在、東京女子医科大学附属田端 NSK ビルクリニック美容外科勤務。

日本形成外科学会、日本美容外科学会、日本レーザー医学会会員、日本整形外科学会会員。  
美容皮膚治療から美容外科手術まで患者側の考えを重視して幅広く対応する治療を目指している。  
最近では Radio frequency 治療の有効性と安全性の研究に精力的に取り組んでいる。

#### 4) ヒューマンコラーゲンによる下眼瞼のたるみ治療

大分皮膚科 院長 山本 貴弘

「化粧品では満足できないが、手術まではしたくない。」という患者には、filler が適応になる。Filler には、コラーゲンやヒアルロン酸などがあるが、部位や症状による使い分けが重要である。演者は下眼瞼のたるみ治療にヒューマンコラーゲンを使い、比較的良好な患者の満足を得ている。

#### Profile

熊本大学医学部卒業、九州大学生体防御医学研究所附属病院（現先進医療センター）で皮膚科を学ぶ。日本皮膚科学会認定皮膚科専門医。

#### 5) フラクセル・レーザーの下眼瞼への効果

クロスクリニック 院長 石川 浩一

フラクセルは波長 1550nm の皮膚を蒸散する強力なリサーフェシング・レーザーの一つである。ただし、他に類を見ない特徴は、スポットサイズが約 0.1mm と極めて小さいことで、点状の蒸散が表皮の剥奪を伴わないことを利用して、1cm<sup>2</sup>あたり 2000 個程度の点で、安全な範囲のレーザー・リサーフェシングを行うのがフラクセル治療である。フラクセルは 20mJ の照射強度で約 0.9 ミリ程度の深さまで Ablasion 作用を及ぼすと言われ、これを下眼瞼に適応すれば、ほぼ真皮全層の resurfacing 効果を期待することができるが、実際には、下眼瞼には 6～10mJ の照射が限界で、しかも照射密度を上げることは赤みなどの side effect を伴う恐れがある。

下眼瞼治療の要件は 皮膚色調 皮膚緊張 小じわ Baggy eye S00F の下降 Tear through, Nasojugal groove などの改善であり、フラクセルは ~ の改善を期待できる治療である。

#### Profile

1988 年防衛医科大学卒業・同大学付属病院救急部にて外科・形成外科を研修  
1992 年自衛隊中央病院形成外科・国家公務員等共済組合連合三宿病院形成外科医長。  
1994 年東京女子医科大学附属第二病院形成外科助手、医局長。  
1998 年開業。東京女子医科大学附属第二病院形成外科非常勤講師。  
現在 医療法人優成会クロスクリニック 院長。

## 【美容医療、達人に聞く！ -治りにくいニキビの治療-】

座長 スキンクリニック野瀬 院長 野瀬 隆夫、 大宮スキンクリニック 院長 石井 良典

### 1) 痤瘡に対する PPx の有用性の検討

実川皮フ科クリニック 院長 実川 久美子

光治療効果に毛包内容の吸引・排出効果が加わることで良好な治療効果が得られたので報告する。

膿疱の多発した症例では、治療後の赤みや瘢痕形成が問題となるが、PPx 治療後は速やかに赤みが消退し瘢痕を残さず治癒する傾向が顕著であった。

痤瘡の軽快と同時に開大した毛包が縮小し肌のキメが整うことで患者満足度が高い治療である。

#### Profile

昭和 45 年 東京女子医科大学卒  
卒後、5 年間アメリカ在住  
昭和 51 年 東京女子医科大学皮膚科学教室助手  
昭和 53 年～平成 5 年 日本赤十字社医療センター皮膚科副部長を経て  
平成 5 年 目黒区にて実川皮フ科クリニックを開設。  
皮膚科一般診療に加えメディカルエステも併設、美容医療にも力を注いでいる。

### 2) PDT 治療 (photodynamic therapy) によるニキビ治療

東京女子医科大学附属田端 NSK ビルクリニック 美容外科<sup>(1)</sup>  
東京女子医科大学附属青山女性医療研究所クリニック 美容医療科<sup>(2)</sup>  
竹内かおり<sup>(1)</sup>、根岸圭<sup>(2)</sup>、櫛方暢晴<sup>(1)</sup>、長尾公美子<sup>(2)</sup>、若松信吾<sup>(2)</sup>

近年、様々な治療が工夫され、ニキビ治療の成績は向上している。しかし、現実には難治例を経験することも少なくない。そこで、我々はそのような例に対し PDT 治療を行っている。

我々の方法は、外用 20%ALA (amino levulinic acid、Levulan<sup>®</sup> Kerastic<sup>®</sup>) を塗布した後に、波長 405 - 420nm の青色光 (Clear Light<sup>®</sup>) を照射する治療である。この治療は難治例に大変効果的であるが、いくつかの問題点がある。ひとつは、照射後数日の間に経時的に出現する、赤み、腫脹、それに続く痂皮形成、反応性小丘疹などである。その他に痂皮脱落后に色素沈着や長期間継続する赤みが生じることもある。前者は避けられないことで患者の理解を得る以外にはないが、後者は外用や光治療の併用で短期間に改善させることができる。

今回は実際の症例を供覧しながら、本治療の特徴と最小の侵襲にとどめるための我々の工夫について紹介する。

#### Profile

札幌医科大学卒業。東京女子医科大学附属第二病院形成外科を経て、現在は田端 NSK ビルクリニック美容外科にて IPL 治療やレーザー治療、ケミカルピーリングなどの美容治療を専門に行っている。

### 3) 小林メソッド（皮脂腺電気焼却法）による、治りにくいニキビの治療

青山・小林クリニック 院長 小林 敏男

大人ニキビを小林メソッドで治療してみて、顔中心線部（口周り、鼻および周辺）は移動性にニキビが新生しやすい症例が多い。この範囲は、ニキビ部の毛穴以外にも、ニキビの新生を予防するため、できるだけ多くの毛穴に治療針を刺入し、治療を行っている。

今回は治療後の長期経過および最近のニキビの治療例を報告する。

#### Profile

千葉大学医学部卒。佼成病院皮膚科、昭和大学医学部形成外科で研修、勤務を経て、『小林クリニック』を開業。＜小林式脱毛術＞による電気脱毛の権威。さらにニキビ、Tゾーンや鼻の多脂に対する新治療法として皮脂腺の電気治療＜小林メソッド＞を開発した。日本医学脱毛学会、日本臨床皮膚外科学会、Medical Beauty Forumなどの元会長

#### 【New Methodのご紹介】

##### 1) 各種レーザー治療後における0メイクの有用性について

みやた 形成外科・皮ふクリニック 院長 宮田 成章

(協賛：株式会社サンソリット)

ダウンタイムを必要とするレーザー治療後において一般に用いられる既存のテープや絆創膏は、外観上の問題や使用感の問題を有し、患者の日常生活に大きな制約を与える事が多い。

0メイク（サンソリット社）は創傷治癒の観点から開発され、活性酸素除去、湿潤環境と酸素供給、ウォータープルーフ、UVカットなど、メイク製品ながら創傷被覆材として必要な諸条件を満たすものである。

今回、表在性の色素疾患や母斑のレーザー治療後に、従来の創傷保護材の代用として0メイクを使用したところ、治療後経過に差がなく、非常に有用であると思われたので、使用方法を含め、症例を供覧する。

#### Profile

平成2年防衛医大卒。卒後、防衛医大救急部形成外科、札幌医大形成外科勤務。

平成9年11月、市立室蘭総合病院形成外科医長。

平成12年5月、医療法人慈好会 虎ノ門形成外科・皮ふクリニック院長。

平成16年5月、医療法人の事業再編に伴い独立、みやた形成外科・皮ふクリニック開設。

日本形成外科学会専門医、日本美容外科学会正会員、日本熱傷学会会員、日本医学脱毛学会会員、日本美容皮膚科学会会員、医学博士

##### 2) キュテラ社 XE0 プラットフォームのご紹介：

新しい脱毛ハンドピース PW770

痛みの少ないしわ、たるみ治療器タイタン

キュテラ株式会社 マーケティング部 林 忠朋

XE0プラットフォームは米国キュテラ Inc.が開発したロングパルスNd:YAGレーザーと様々なフラッシュランプハンドピースの組合せが可能な、多目的なレーザーコンソールです。1台のコンソールで様々な機能を果たし、さらに最大の特徴として、アップグレードが可能な商品です。新しい機種、ハンドピースが開発されても、既存のお客様は機械を買い換えることなくお手持ちの機種に最新機能を搭載することが可能です。本日は、レーザーの波長をボタンひとつで可変できる、全く新しいタイプの脱毛用ハンドピース、プロウェーブ770と、近赤外線を用い、痛みの少ないしわ・たるみ治療が可能なハンドピースタイタンのご紹介を致します。

### 3) 再現性の高い治療前後写真を可能にした「顔画像解析装置 VISIA ビジア」

株式会社インテグラル 永岡 庸平

同じカメラ、または同じ機器で撮影したはずの"患者様の皮膚画像写真の色調や撮影角度などが前回と比べて、ずれている！"いった ご経験はありませんでしょうか？

正確な評価、診断をするために、画像の役割や画像の精度の高さは、今後ますます重要になっていくことと思います。

時間をかけずに、再現性の高い皮膚画像写真を撮影する「顔の皮膚画像解析装置 VISIA ビジア」をご紹介します。

### 4) MESODERM を使用したコンビネーションセラピー

株式会社アブソルート 代表取締役 伊藤 永

【MESODERM】は、Mesoporation により薬剤を目的の場所に導入する機器です。

単純塗布やイオン導入・超音波導入などでは導入しにくかった物質を、パルス状の電流を流すことによって、角質に一時的に穴をあけて導入を促します。

また、バーチャルシリンジと呼ばれ、シリンジでの導入に匹敵する結果が期待でき、かつ、痛みが少なく、感染の危険が少なく、肌を傷つける恐れのない導入方法です。

今回は、【MESODERM】と他の機種とのコンビネーションでの治療の可能性について、お話をさせていただきます。

## 【会長講演】

座長 きぬがさクリニック 院長 衣笠 哲雄、青山・小林クリニック 院長 小林 敏男

### 「美容医療のための病理学」

日本皮膚病理研究所 所長、徳島皮フ科クリニック 院長 玉田伸二

病理学は古典的ではありますが、医学の土台のひとつであることは今も変わりありません。

特に形態学をベースとする美容医療と病理は意外と相性が良いです。

美容医療の各種手技による組織学的な変化を検証し、治療方法の参考になるお話をしたいと思います。

キーワード：美容医療、病理学、皮膚老化、しみ、毛穴、ニキビ痕、レーザー、フォトフェイシャル、人工的注入物、ウルトラシェイブ

#### Profile

昭和 54 年 3 月/徳島大学医学部卒業

同年 4 月/徳島大学医学部皮膚科学教室入局

昭和 55 年 4 月/徳島大学大学院医学研究科入学

昭和 59 年 4 月/New York University, Medical center, fellow

昭和 60 年 3 月/医学博士（徳島大学医学部）

昭和 60 年 4 月/徳島大学医学部講師（皮膚病理担当）

昭和 62 年 5 月/開業（徳島皮フ科クリニック・TDC スキンケアセンター・日本皮膚病理研究所）

国際学会での招待講演：第 14 回国際皮膚病理学会（イタリア・1993 年 7 月）テーマ『皮膚外科学と皮膚病理の関連』

専門分野： スキンケア・皮膚表面外科・皮膚病理組織診断学